I·O DATA

② 取付編
HDI-Dシリーズ

147710-01

注意 本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
取り付ける前に本製品のシリアル番号をメモしてください。（別紙【①はじめにお読みください】参照）

1 スイッチを設定する

本製品を取り付ける前に本製品ののスイッチを設定する必要があります。
詳しくは、添付の冊子「HDI-Dシリーズのスイッチ設定・仕様」をご覧ください。

下記 IDEの基礎知識 をご覧になり、本製品のスイッチを『マスタ』（出荷時設定）または『スレーブ』のどちらかに設定します。
※お使いの機種によっては、本製品をケーブルセレクト」に設定するように指定している場合があります。

IDEの基礎知識

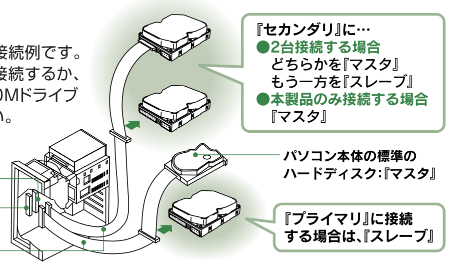
本製品を取り付ける場所を決めてから、左記の通り設定してください。

●本製品はIDE機器としてパソコン本体に接続します。
“パソコンに接続できるIDE機器は最大4台まで”

■パソコン本体には、以下の2つのコネクタがあります。
『プライマリ』(PRIMARY) → IDE1の場合があります。
『セカンダリ』(SECONDARY) → IDE2の場合があります。

■『プライマリ』『セカンダリ』のそれぞれに、IDEフラットケーブル（次ページ参照）を使用して、右記の２台ずつ、計４台までのIDE機器を接続することができます。

●接続例
一般的なパソコンでの接続例です。
空いているコネクタに接続するか、すでにお使いのCD-ROMドライブなどと交換してください。



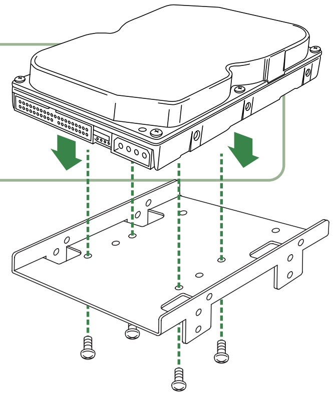
2 取り付ける

注意
●機種によってイラストは多少異なります。詳しくはパソコン本体取扱説明書をご覧ください。
●本製品は動作時、非常に高温になります。風通しの悪いファイルベイ位置や周りが高温となるような位置は、さけて取り付けてください。
●２つしかコネクタがないIDEフラットケーブルがパソコンに取り付けられていた場合は、別途IDEフラットケーブルが必要です。

① パソコンと周辺機器の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

② パソコンのルーフカバー、3.5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
パソコンのルーフカバーの外し方、3.5インチベイのカバーの外し方、取り付け方はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

参考 ●5インチベイに取り付ける場合
金具取り付けネジで金具を取り付け後、5インチベイに本体装着用ネジでパソコンに取り付けます。



③ 各ケーブルを接続します。

❶電源ケーブル
パソコン本体から出ている電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。

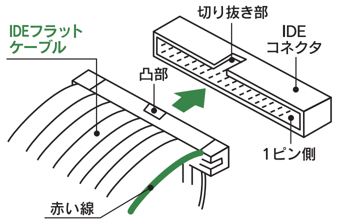
❷IDEフラットケーブル
パソコン本体から出ているIDEフラットケーブルを、本製品のIDEコネクタに接続します。
プライマリ（1系列目）またはセカンダリ（2系列目）を充分確認し、接続してください。

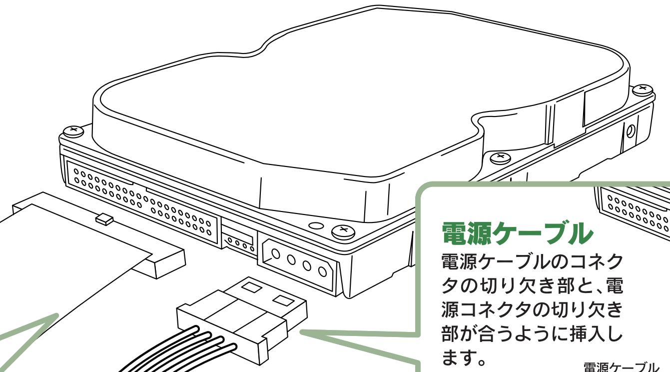
参考 ●3.5インチベイに取り付ける場合
PC98-NXシリーズの一部機種（MA50J/MZ、MA60J/MZ、MA66T/MZ、MA86T/MZ：2002.11.29現在）では、オプションの取り付け金具（HDK-NXM）が必要です。詳しくは、HDK-NXMの取扱説明書をご覧ください。

●ケーブルについて
パソコンによっては、IDEフラットケーブルに1台のIDE機器のみ取り付け可能な場合があります。その場合は、別途IDEフラットケーブル（弊社製「FL-140Hなど）が必要です。

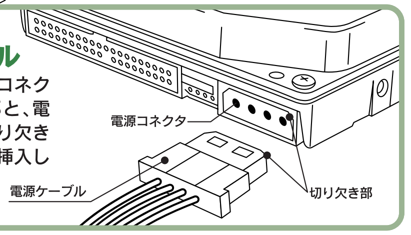
注意 Windows 98では、FDISKのアップデートが必要です
本製品を取り付ける前に「はじめにお読みください」の「動作環境」の個所をご覧ください。

IDEフラットケーブル
IDEフラットケーブルのコネクタの中央にある凸部が、IDEコネクタの切り欠き部と合うように挿入します。（中央の凸部がない場合は、赤い線とコネクタの1ピンの向きを合わせてください。）





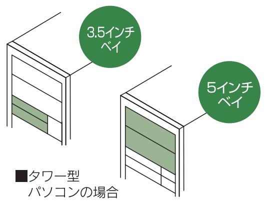
電源ケーブル
電源ケーブルのコネクタの切り欠き部と、電源コネクタの切り欠き部が合うように挿入します。



④ 添付の本体装着用ネジで本製品を固定します。
お使いの機種によって、ネジ穴の場所や数が異なります。
詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

⑤ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

参考 本製品は、空いている3.5インチベイと5インチベイに取り付けることができます。



●3.5インチベイとは
フロッピーディスクドライブと同じ大きさの内蔵ドライブを取り付けられる場所のことです。
通常は、こちらに取り付けてください。

●5インチベイとは
CD-ROMドライブと同じ大きさの内蔵ドライブを取り付けられる場所のことです。
3.5インチベイが空いていない場合は、こちらに取り付けてください。

3 使えるようにするには

本製品をパソコンに接続しただけでは使用できません。
Drive Imageを使って環境移行を行うか、または本製品を一度フォーマット／初期化する必要があります。

ここからは、パソコンの標準ハードディスクから環境を移行したり、フォーマットや初期化の手順について説明します。

●フォーマット／初期化について
フォーマット／初期化は一度行えば使用できるようになります。
一度フォーマット／初期化した本製品を再度フォーマット／初期化すると、本製品にコピーしていたデータはすべて消えてしまいます。
必要なデータがある場合は、そのデータをMOメディアなどの他の場所に保存してからフォーマット／初期化してください。

作業方法は、お使いのOSおよび使い方によって異なります。
右をご覧になり、それぞれにあった個所をご覧ください。

●環境移行する
現在お使いの起動用ハードディスクの内容を本製品にすべて移行し、本製品を起動用ハードディスクとして使用する手順

裏面の【環境移行する】参照
※環境移行後はそのままお使いになれます。フォーマットを行う必要はありません。

●データ保存用・作業用（ワークエリア）として使用する
本製品を起動ドライブとしてではなく、データ保存用としてご利用になる場合の手順

本製品をフォーマット／初期化する必要があります。ただし、ご使用のOSによって手順が異なります。別紙【補足 フォーマット編】を参照。

4 サポートソフトを使う

サポートソフトには、以下のWindows用ソフトウェアが収録されています。CDメニューからインストールします。
※CDメニューはサポートソフトCD-ROMをセットすれば自動で表示されます。メニューが表示されない場合は、CD-ROMの「MENU」アイコンをダブルクリックしてください。
※Windows XP/2000をお使いの場合は、管理者権限でログオンしてからインストールしてください。

ソフトウェア名	用途	お問い合わせ先
環境移行＆バックアップソフト 「Drive Image 5.0」	システムクラッシュ時の復旧作業を劇的に軽減できる画期的なユーティリティです。 ※オンラインマニュアルに記載のDataKeeperは添付しておりません。	株式会社 ネットジャパン
パーティション編集ソフト 「PartitionMagic 7.0」	ハードディスク上の既存のデータを失うことなく、容易にパーティションのサイズ変更/移動/コピー/変換/分割/結合がWindows上から行えます。	
ブートマネージャーソフト 「BootMagic 7.0」	複数のOSを切り替えて使うためのユーティリティです。	
リカバリーCD/DVD作成ユーティリティ 「Bootable CD Creator Plus 2.0」	DriveImageで作成したイメージファイル専用のCD/DVDライティングソフトです。	
デフラグツール 「PerfectDisk 6.0」30日体験版	PerfectDiskは、データファイルはもちろん、システムファイル、空き領域の最適化を行うユーティリティです。※PerfectDisk 6.0の対応OSは、Windows XP/2000のみとなります。	体験版のため サポート対象外です
Acrobat Reader	各ソフトウェアに付属しているPDFファイルを読むためのソフトウェアです。	株式会社Adobe
完全データ消去ソフト 「Disk Refresher LE」	※製品版Disk Refresherの機能制限版です。 パソコン本体のATAインターフェイスおよびBIOSを搭載したATA、SCSIインターフェイスに接続されたハードディスクのデータを消去するユーティリティです。	株式会社 アイ･オー･データ 機器

インストール時のシリアル番号 ※インストール時に下記のシリアル番号を入力する必要があります。

●Drive Image 5.0：

●PartitionMagic 7.0：

裏へ続く ➡

環境移行する

●本作業手順は作業例です
必ずDrive Imageのオンラインマニュアルをご覧の上、作業を行ってください。Drive Imageのその他の機能についてもオンラインマニュアルをご覧ください。

●起動ドライブと本製品以外のハードディスクは取り外しておくことをおすすめします。
誤ってコピーしてしまうとデータが消えてしまいます。できる限り、起動ドライブと本製品以外のハードディスクは取り外してください。

●環境移行先のハードディスクがフォーマット済みの場合
一度フォーマットしたハードディスクに対して環境移行を行う際は、作業前に「Dsik Refresher LE」でそのハードディスクのデータを消去してください。（製品購入状態では作業の必要はありません。）

●ダイナミックディスクを環境移行する場合
本手順では、ダイナミックディスクを環境移行することはできません。DriveImage のオンラインマニュアルをご覧になり、現在のハードディスクのイメージを作って環境移行してください。

●オンラインマニュアルの参照方法
本製品のサポートソフトCD-ROMを挿入することで表示されるメニューからオンラインマニュアルを参照できます。

●DriveImageについてのお問い合わせ
別紙【①はじめにお読みください】裏面の【添付ソフトウェアに関するお問い合わせ】をご覧ください。

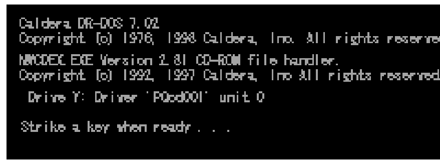
❶ パソコンの電源を入れ、サポートソフトをCD-ROMドライブに挿入します。

❷ CD-ROMからパソコンを起動させます。

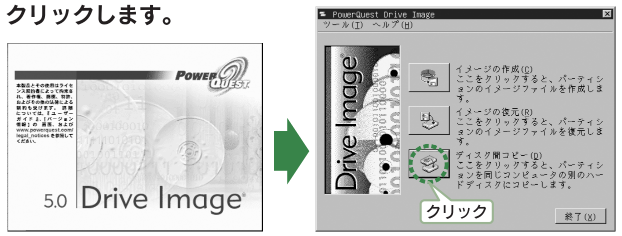
注意　Windowsが起動してしまった場合は、CD-ROMを挿入したままパソコンを再起動してください。

※CD-ROMからのパソコン起動方法についてはパソコンの取扱説明書を参照してください。

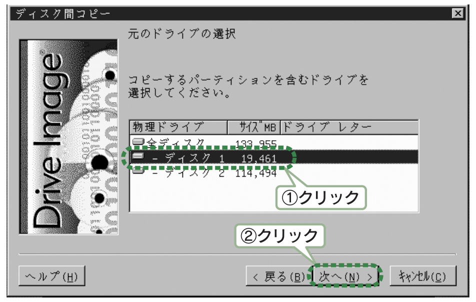
❸ しばらくすると下記の画面が表示されます。何かキーを押します。



❹ 以下の画面が表示されますので、画面の「ディスク間コピー」をクリックします。

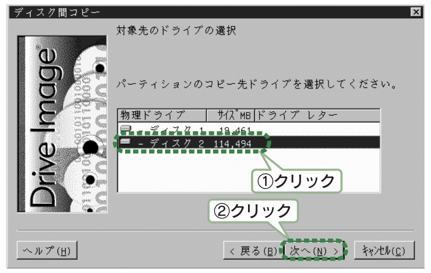


❺ コピー元（起動用としているドライブ）を選択します。「ディスク1」をクリック後、「次へ」をクリックします。

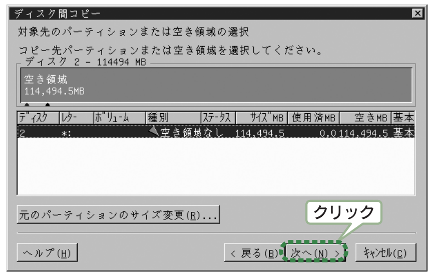


❻ コピー元（ディスク1）に複数パーティションがある場合は、パーティション選択画面が表示されます。コピーしたいパーティションを選択します。

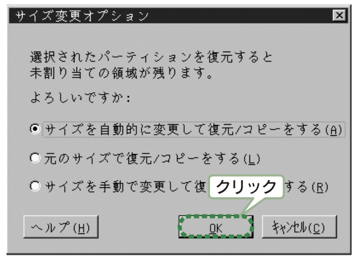
❼ コピー先ドライブ（本製品）を選択します。「ディスク2」をクリック後、「次へ」をクリックします。



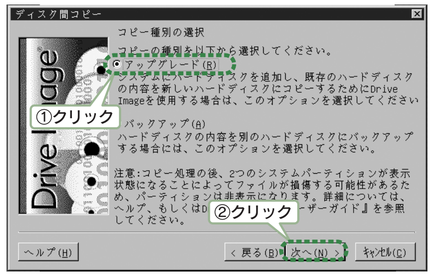
❽ コピー先の空き領域を選択し、「次へ」をクリックします。



❾ [OK]をクリックします。

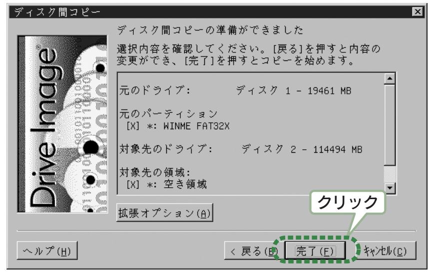


❿ [アップグレード]をチェック後、[次へ]をクリックします。

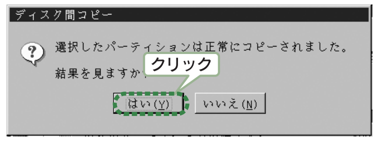


⓫ [高速モード]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ 内容を確認後、[完了]をクリックします。コピーを開始します。コピーが終了するまでしばらくお待ちください。



⓭ コピー終了後、以下の画面が表示されます。[はい]をクリックします。



⓮ コピー先の状態を表示します。内容を確認後、[閉じる]をクリックします。

⓯ 後は[終了]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

⓰ サポートソフトCD-ROMを取り出します。

⓱ 再起動を促す画面が表示される場合がありますが、ここでパソコンの電源を切ります。

以上で、起動用ハードディスクの環境を本製品に移行しました。次に、コピー先の本製品を起動用として取り付けなおします。

本製品を起動用にする

❶ パソコンと全ての周辺機器の電源を切ります。
❷ パソコンに接続されている全てのケーブルを取り外します。
❸ 本製品と起動用ハードディスクを取り外します。

参考
●取り外した起動用ハードディスクの使い方
■取り外したまま保管する
何らかのトラブルがあった際に起動用ドライブとして使用できます。
※起動用ハードディスクからパソコンを起動したい場合は、起動ハードディスクを「マスター」として接続後、DriveImageでアクティブに設定しなおす必要があります。（上記手順で環境移行を行うと起動ハードディスクは非アクティブに設定されるためです。）
【環境移行する】の①～④の手順でDriveImageを起動後、④の画面の「ツール「メニューの[アクティブパーティションの設定]で起動ハードディスクを「アクティブ」に設定しなおしてください。

■パソコンに接続して使う
※本製品から正常にパソコンが起動できることを確認した後、取り付けてください。
「プライマリ」に「スレーブ」設定で取り付けてください。
その後、フォーマットしてお使いください。

❹ 本製品を「マスタ」に設定します。

参考
●本製品のジャンパスイッチ設定について
添付の冊子「HDI-Dシリーズのスイッチの設定・仕様」をご覧ください。

❺ 起動用ハードディスクがあった位置に、本製品を取り付けます。
❻ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
❼ いつも通りに起動していれば、作業は成功です。
❽ パソコンにカバーを付け、取り外したケーブルを元に戻します。

環境移行作業はすべて完了しました。本製品をお使いください。
※環境移行したのにパソコンが起動しない場合は下記の困ったときにはをご覧ください。

困ったときには

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

●CD-ROM内のオンラインマニュアルもご覧ください

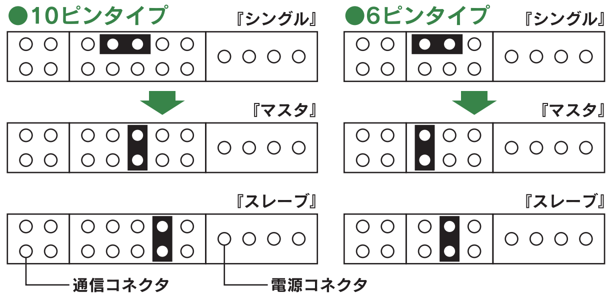
●パソコンが起動途中で止まってしまう
●FDISKで[5]の項目が表示されない（Windows Me/98）
●FDISKで本製品が表示されない（Windows Me/98）

原因1　本製品か他の機器が正しく接続されていない
パソコンおよびすべての周辺機器の電源を切り、本製品を含むすべての機器の接続（ケーブルなど）を確認してください。

原因2　本製品のジャンパスイッチが正しく設定されていない
表面【1 スイッチを設定する】をご覧ください。パソコンの取扱説明書に『ケーブルセレクト』に設定すると書いてある場合は、本製品を『ケーブルセレクト』に設定します。

原因3　内蔵ハードディスクの設定を変える必要がある（内蔵ハードディスクを起動ドライブとして使用時）
パソコンの内蔵ハードディスクが『シングル』設定になっている場合には、内蔵ハードディスクの設定を『マスタ』に変更してください。

参考
Western Digital社製ハードディスクの設定
この設定は、本製品の設定ではありません。



●環境移行したのにパソコンが起動しない

原因1　接続や設定が間違っている
上記の［原因1、2］を参照し、本製品とパソコンの接続および本製品が［マスター］に設定されているか再度ご確認ください。

原因2　正常にコピーできなかった
以下の手順を行ってみてください。

❶ パソコンの電源を切ります。
❷ コピー先ハードディスク（本製品）をパソコンから取り外します。
❸ コピー元ハードディスク（起動用としていたハードディスク）のスイッチを[マスター]に設定して元の位置に取り付けます。
❹ 【環境移行する】の❶~❹の手順を参照してサポートソフトからCDブートして、DriveImageを起動します。
❺ ❹の手順の画面で「ツール(T)」メニューから「アクティブパーティションの設定(A)」を選択します。
❻ OSの入っているパーティションを「アクティブ」に設定します。
❼ サポートソフトを取り出して、パソコンを再起動してください。
❽ OSが起動したら、サポートソフトからDrive Imageの緊急ディスクを作成してください。（緊急ディスクはDrive Imageをインストール時に作成する、インストール後に作成する、のどちらでも作成できます。）※FDが3枚必要になります。
❾ 緊急ディスクの3枚目のFDにサポートソフトCD-ROM内のmbrcopyフォルダのmbrcopy.exeとmbrreadme.txtをコピーした後、mbrreadme.txtの内容をプリントアウトしてください。
❿ Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。
⓫ コピー先ハードディスク（本製品）を[マスター]、コピー元ハードディスク（起動用としていたハードディスク）を[スレーブ]に設定して、パソコンに取り付けます。
⓬ 上記❻で作成した緊急ディスクFD（1枚目の緊急ディスク）からDrive Imageを起動してください。
⓭ 起動後、DriveImageを終了しmbrcopyと入力し[Enter]キーを押してmbrcopyを起動します。
❼でプリントアウトしたmbrreadme.txtに従い、起動用としていたハードディスクから本製品に対して作業を実行してください。
※mbrreadme.txtでの設定・選択については、それぞれの容量を確認の上、[コピー元(原版)]は上記⓫で[スレーブ]で起動用としていたハードディスク、[コピー先(複製版)]を本製品に設定・選択してください。
⓮ 作業終了後、パソコンの電源を切って、コピー元ハードディスク（起動用としていたハードディスク）を取り外して、パソコンを起動してください。